

外国人研究者 趙玉皎先生講演会

教育学部国語教育教室主催・茨城国語教育学会後援

2025 年 8 月 2 日（土） 13 : 00～15 : 00（12 : 30 開場）

会場：茨城大学教育学部 D 棟 201 教室

事前
申込
不要

講演題目：

中国における森鷗外文学の翻訳と受容

日本近代文学を中心とする日本文学研究及び翻訳で成果をあげてこられた中国天津商業大学の趙玉皎先生に、茨城大学に滞在中の研究成果を含め、お話しいただきます。

【講演概要】魯迅による初訳（1921「沈黙の塔」）を出発点として、中国における鷗外文学の受容史をたどり、民国期から戦後、改革開放期を経て近年に至るまで、時代ごとの訳業を考察する。そして、特にドイツ三部作や歴史小説などが中国の知識人層に与えた影響を検討する。

趙 玉皎（チョウ・ギョクコウ）：

中国天津商業大学外国語学部専任講師。専攻は日本近代文学。著書に『森鷗外歴史小説研究』、翻訳書に『舞姫——森鷗外中短編小説選』『羅生門——芥川龍之介短編小説選』『宮沢賢治童話集』などがある。

【問い合わせ先】

講演会企画者：教育学部国語教育教室 李満紅^{りまんほん}（趙先生の受け入れ教員）

manhong.li.cd74@vc.ibaraki.ac.jp